

<詩>

若き友よ

山形大学前学長 仙道 富士郎

大きな試練をまえに、悩み、苦しみ、そして
ときには、その重さに押しつぶされそうな
いまの君を想う
すぐそこに待つ定めるときを思うとき
心は乱れ、胸は高鳴る
しかし、一人の年老いた先輩として君に告げよう
いまこそが君の飛躍の時だと
ひとは皆一つのこと一心不乱に打ち込んだときにのみ
啓示を受ける

若き友よ
満身の力もて事に当たれ
深き淵の影、きみをおびやかすとも
望みを失うことなく、一步一步静やかに歩め
新しい地平が必ずや君に訪れると私は信ずる
想え、この苦しみは永久に続くものでないことを
人生最大の喜びに満ちあふれるときが訪れるのも遠くはあるまい

若き友よ
春が訪れ、林のみどりが芽吹くとき
張り裂けんばかりの喜びに打ち震える君の姿を
我が学舎に見いだす喜びを私にも与えてくれまいか